

# まつりといのり

## —社寺周辺の風景—



赤穂八幡宮獅子舞の獅子頭



坂越の船祭



壱屋荒神社屋合行事

### ■ストーリー

古くから、人々の生活には信仰が深く結びついていました。市内には歴史ある数多くの社寺が残されており、多くの場合、その周囲の景観までも往時の雰囲気を伝えています。

また各地域の神社で行われる秋祭りは、赤穂の特性をよく反映し、船祭りや屋台など多種多様な神事が行われているほか、「播磨は獅子どころ」とよく言われるように、地域ごとに特色のある獅子舞が奉納されています。

秋祭りは現在も地域全体の行事として行われており、地域コミュニティの維持・形成にも重要な役割を果たし、継承への努力が現在も行われています。



赤穂義士祭当日の花岳寺早朝参拝

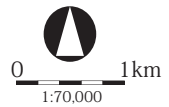
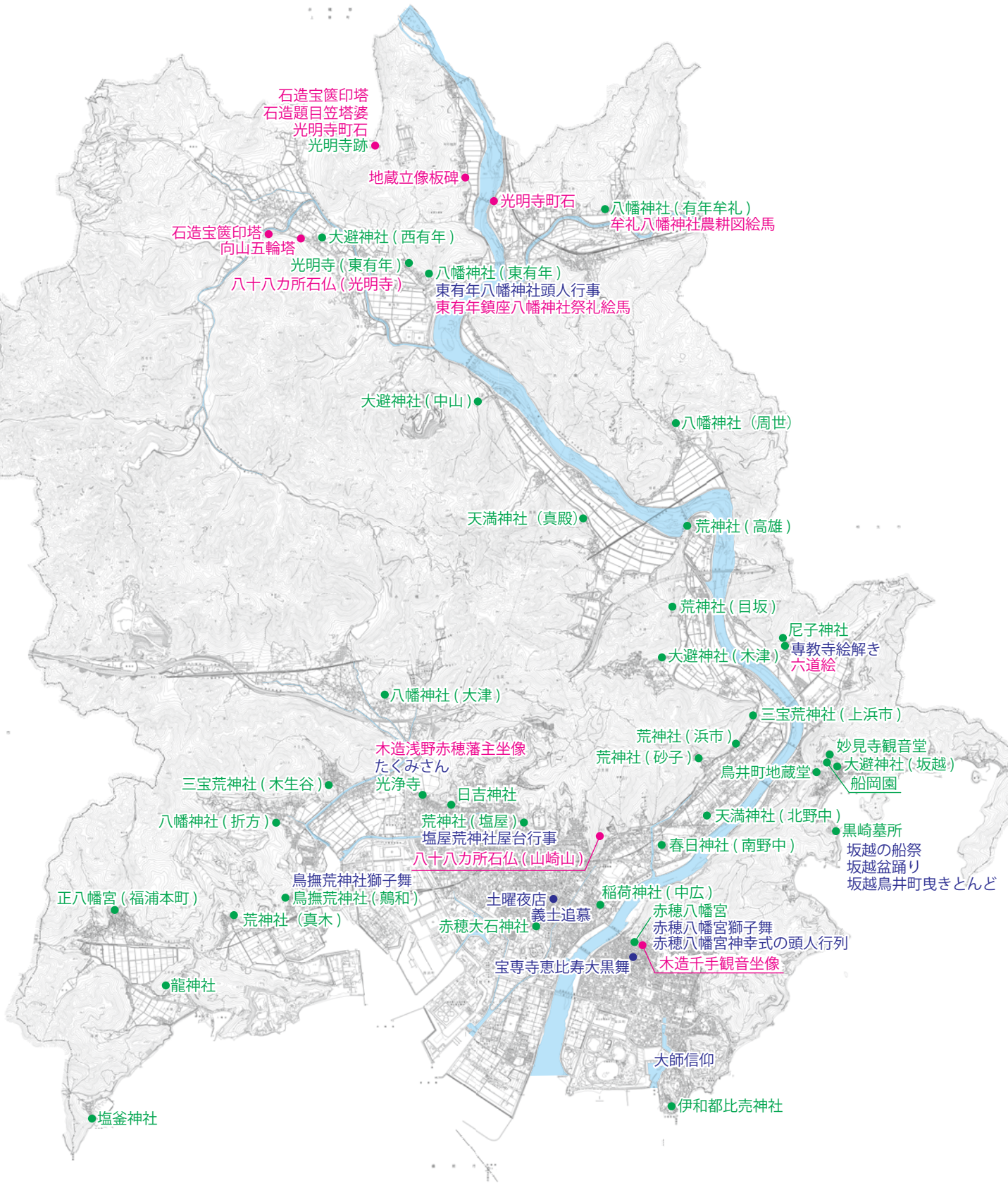


獅子舞の伝承風景



木造千手観音坐像（普門寺）

■主な歴史文化遺産の分布



凡例	●もの	●場	●こと
----	-----	----	-----

# 信仰—社寺の景観

各地域で村が管まれるにあたって、各宗派の信仰拠点となった寺院、そして村全体の鎮守として、村を一望できるような場所に築かれた神社。赤穂市内にはこうした景観が今も変わらず残されているところが多く、ひっそりとたたずむその景観に歴史の重みを感じることができます。



大避神社（中山）の合祀神社  
秦河勝を祀る大避神社の境内社。  
周囲は樹木に囲まれ、荘厳な雰囲気を残す社。



光明寺（東有年）  
境内には八十八ヶ所石仏もあり、秋には素晴らしい景観を見せる。



山崎山からの眺望  
山崎山の八十八ヶ所からは赤穂市街地（旧城下町）を望むことができる。

妙見寺観音堂（坂越）  
宝珠山の山腹にある珍しい懸造建築。  
市指定文化財。



八幡神社（周世）  
林の参道を抜けて境内に入ると土俵があり、そこで秋祭りの獅子舞が奉納される。



鳥居

伊和都比売神社（御崎）  
瀬戸内海に面した市内唯一の式内社。海上交通の神社として、浅野長矩がこの地に移したという。

# 祭りの風景



## 坂越の船祭（坂越）

大避神社から坂越湾に浮かぶ生島の御旅所まで船団が巡幸する。遠くの海上に浮かぶのは牡蠣養殖の筏。国指定文化財。

## 大避神社祭礼絵巻（個人蔵）

御旅所までの船団を描いた絵巻。弘化2（1845）年。



## 塩屋荒神社屋台行事（塩屋）

市内最大の屋台行事。東西2地区が屋台練りを競い合う。市指定文化財。



## 赤穂八幡宮獅子舞（尾崎）

かつては市南部全域が氏子であった八幡宮の獅子舞。鼻高が主体的な役割を担う。県指定文化財。

北に山地を、南に瀬戸内海を擁する赤穂市には、特徴ある様々な祭りが残されています。

天然の良港坂越湾を舞台に繰り広げられる瀬戸内三大船祭の一つ「坂越の船祭」では、11艘もの船団を組んで御旅所のある生島への海上渡御が行われます。

江戸時代には千種川下流域の多くの地域が氏子域であった赤穂八幡宮で行われる獅子舞は、太鼓だけで鼻高・獅子による道中舞を繰り広げる伝統が残されています。

西浜塩田の漁男たちが集住した塩屋村で行われていた「塩屋荒神社屋台行事」は、東西2地区の大屋台が練りを競い合う市内最大の屋台行事です。市内屈指の芸獅子である鶴和の「鳥撫荒神社獅子舞」は梯子獅子が特徴です。

かつて近世山陽道の有年宿として栄えた東有年の「東有年八幡宮頭人行事」は、伝統的な頭人行事の古い風習が色濃く残ります。

こうした行事には「頭人」が多く関わっているのも特徴です。



## 東有年・八幡神社祭礼

頭人、神田、オハケ、トリノコなど、旧習をよく残す祭礼。市指定文化財。

## 祭りの華—鼻高と獅子

獅子舞は江戸時代に全国に広まった民俗芸能で、一般的には神輿の先導役、露払い役を果たすものです。

播磨は「獅子どころ」として有名で、その一角を担う赤穂でも市内30か所の神社で行われている秋祭りの代表的な行事となっています。

赤穂の獅子舞における中心的な存在は獅子と鼻高（天狗）であり、各神社によってその役割は微妙に異なりますが、基本的に鼻高は獅子の先導役であり、また獅子と対決することによって獅子舞を盛り上げることに貢献しています。



伊和都比売神社獅子舞（御崎）  
かがり火のなか奉納される本宮の獅子舞。赤穂八幡宮獅子舞の流れを汲むがより激しくアレンジされている。

赤穂の獅子舞は主に3つの系統に分かれています。

一つは赤穂八幡宮獅子舞に代表される鼻高が中心となるもの。基本的に演目は1種類しかなく、古相を残す赤穂八幡宮獅子舞（県指定文化財）では笛による囃子はなく太鼓のみによって舞われます。かつての赤穂八幡宮の氏子域にこの系統のものが見られます。

もう一つは獅子が中心となるもの。太鼓と笛の囃子によって、様々な演目が披露されます。「おたやん」「ひょっとこ」「サル」「キツネ」「ぼんさん」など多彩な役割が登場するのも特徴です。

今一つは芸獅子です。肩車や梯子をつかった曲芸的な演目が特徴で、現在市内には鶴和と西有年に見られます。



神勇（カミイサミ・カミイサン）の舞



サル  
子どもが演じるもので、獅子をからかうように舞う。



鼻高（天狗）  
赤穂の獅子舞において重要な役割をもつ。主に獅子の先導役となる。



鳥撫荒神社獅子舞  
市内随一の芸獅子で梯子獅子が最大の特徴。赤穂市指定文化財。

# 市内の秋祭り一覧

地区	場 所	開 催 日	中心行事	神輿	屋台	獅子舞	頭人 行事	その他
赤穂	赤穂大石神社（上仮屋）	10月第3日曜日	神田の稲刈					浦安の舞
	稲荷神社（中広）	10月15日 以降の日曜日	獅子舞奉納 頭人	○		◎	○	
	春日神社（南野中）	10月第2日曜日	獅子舞奉納	○		◎		
城西	上仮屋獅子舞保存会	不定期	獅子舞奉納			◎		
塩屋	荒神社（塩屋）	10月25日 直近の日曜日	<b>屋台行事</b> 獅子舞奉納		◎◎	◎		
	日吉神社（新田）	10月25日 直近の日曜日	獅子舞奉納	○		◎		
	八幡神社（大津）	10月25日 直近の日曜日	獅子舞奉納	○		◎		
	三宝荒神社（木生谷）	10月25日 直近の日曜日	獅子舞奉納	○		◎		
西部	八幡神社（折方）	10月26日 直近の日曜日	獅子舞奉納	○		◎		
	鳥撫荒神社（鷓和）	10月第2日曜日	<b>獅子舞奉納</b>			◎		
	槇荒神社（鷓和真木）	10月第2日曜日	獅子舞奉納			◎		
	正八幡宮（福浦本町）	10月第2日曜日	獅子舞奉納			◎		
	龍神社（福浦新田） 塩釜神社（福浦古浜）	10月第2日曜日	獅子舞奉納			中断		合同で祭礼実施
尾崎	赤穂八幡宮（尾崎）	10月15日 以降の日曜日	<b>御旅所への 頭人行列</b>	◎	◎◎	◎	○	
御崎	伊和都比売神社（御崎）	10月第2日曜日	獅子舞奉納	○	◎◎	◎		
坂越	大避神社（坂越）	10月第2日曜日	<b>御旅所への 船渡御</b>	◎		◎◎	◎	
	尼子神社（高野）	10月第2日曜日	獅子舞奉納	○		◎		
	三宝荒神社（上浜市）	10月第2日曜日	獅子舞奉納	○		◎		
	荒神社（浜市）	10月第2日曜日	子供神輿	○				
	荒神社（砂子）	10月第2日曜日	獅子舞奉納	○	○	◎◎		
	天満宮（北野中）	10月第2日曜日	獅子舞奉納	○		中断		
高雄	大避神社（中山）	10月第2日曜日	獅子舞奉納			◎		
	天満神社（真殿）	10月第2日曜日	獅子舞奉納			◎		
	周世八幡神社（周世）	10月第2日曜日	獅子舞奉納			◎		
	荒神社（高雄）	10月第2日曜日	獅子舞奉納	中断		◎		
	荒神社（目坂）	10月第2日曜日	獅子舞奉納			◎◎		
	大避神社（木津）	10月第2日曜日	獅子舞奉納	○		◎		
有年	大避神社（西有年）	10月第3日曜日	獅子舞奉納			◎		浦安の舞
	八幡神社（東有年）	10月第2日曜日	<b>御旅所への 頭人行列</b>	◎	◎		○	流鏝馬・オハケ トリノコづくり
	八幡神社（有年牟礼）	11月第1日曜日	獅子舞奉納	○		◎		

※ ◎は成人が行うもの、○は子供が行うもの  
赤字のゴシックは指定文化財



船岡園（坂越）

大正3（1914）年に整備された児島高德顕彰の公園は海の見える桜の名所となっている。現在も周辺で桜の植樹が行われている。



光明寺奥の院

中世に山岳寺院であった光明寺は現在山麓に下りており、山上は奥の院として石造物等が整理されて中世的な風景が残されている。

## 今に伝わるこころ

秋祭り以外にも、様々な行事が赤穂市には残されています。生活が都市化した現在にあって「時代遅れ」の服を着て歌い、踊るのはなぜでしょうか。そこには、ふるさとの歴史文化への強い思いがあるからに違いありません。

近年は少子高齢化の危機を前にして、逆に地域づくりが活発化する事例が増えています。



正八幡宮獅子舞（福浦）

福浦西地区の雌獅子は、少子高齢化のため中断していたが、平成29年に7年ぶりに復活した。



塩屋屋台蔵

塩屋荒神社の秋の祭礼で用いられる屋台の蔵。東・西でそれぞれこのような蔵を持っている。



土曜夜店

昭和2（1927）年の「一六夜店」からはじまり、90年以上の歴史をもつ夏の風物詩。



坂越盆踊り

広場のなかった坂越地区では、盆踊りは道路上で2列になって行っていた。現在も保存会によって守られている。赤穂市指定文化財。



たくみさん

光浄寺では、戸島用水を引き、自らの村を拓いた浅野長直の命日に、地域住民が法要を行っている。

## 義士追慕

毎年12月14日に開催される赤穂義士祭は、平成29（2017）年で第114回を数える歴史ある伝統行事です。義士祭では街頭パレードなど華やかなイベントが開催されますが、その当日、浅野家の菩提寺である花岳寺等で義士追慕が行われています。

花岳寺 義士参拝



## お大師信仰

御崎地区において古くからあるまちは瀬戸内海を臨む斜面地にあります。ここには7か所の大師堂があり、弘法大師信仰が今も残っています。

個人宅内にも祀られているものがあり、その信仰の厚さと歴史を感じることができます。

お大師まいり



